



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和5年9月29日 第6号  
小笠原村立小笠原中学校  
校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 「Believe!」

副校長 武田 悠

まもなく10月。4月にスタートした令和5年度も、折り返しを迎えています。10月1日に行われる小中高連合運動会を目前に控え、子供たちの競技、演技の練習に取り組む熱量も最高潮に達しています。

私も本校に着任して半年が経ちました。目を奪われるような美しい小笠原の大自然、たくさんの方々が集って盛り上がる音楽やスポーツ、小笠原ならではの祭り・イベントなど、この半年間を振り返るだけでも、様々な感動がありました。改めてこの小笠原で仕事ができることに喜びを感じています。

そんな数多くの感動の中でも、一際私の心に残ったのは、小笠原中の子供たちの目標に向かって努力するひたむきな姿でした。4月に行われたこどもまつりでは、一人一人が自分にできることを考え、進んで行動し、お祭りに集まる人たちにたくさんの笑顔をもたらしました。また7月の遠泳大会では、互いに励まし合いながら1kmを完泳し、全員でゴールする喜びを味わうことができました。目立たないところでも準備や後片付けに、責任をもって取り組む態度も立派でした。部活動でも、日々の練習や活動に全力で取り組み、切磋琢磨しながら、自信を深めています。子供たちの頑張る姿には、いつも元気をもらえます。

こうした小笠原中の子供たちの行動の原動力は何でしょうか。それを考えるヒントを、先日日本中が熱狂したバスケットボールW杯での日本代表監督トム・ホーバス氏の言葉を見つけました。

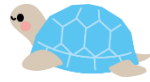
沖縄で行われたバスケットボールW杯にて、日本代表はアジア勢1位となり、2024年のパリ五輪の出場権を獲得しました。自力での五輪出場権獲得は1976年モントリオール五輪以来48年ぶりの快挙でした。パリ五輪切符獲得までの過程でキーワードとなったのが、ホーバス監督が毎日のように繰り返し続けた「Believe(信じて!)」という言葉でした。ホーバス監督は選手たちによく、「自分を信じて」、「チームメイトを信じて」、「うちのバスケットを信じて」と伝えていました。そう声掛けすることで選手一人一人が自分の力を信じて強くなっていき、個々が強くなることでさらにチームの力が向上していく。このようなプロセスを経て、チーム作りがされていたようです。試合を終えた選手たちからも「トムさんからの“自分を信じて”の言葉を胸に、自分たちを信じて戦った。その結果がこれだと思います!」との声が聞かれました。「信頼は力になる。」それをまさに体現してくれた日本チームの活躍でした。

小笠原中の子供たちの生き生きとした姿がたくさん生まれるのも、きっと保護者や地域の皆様の信頼や愛情に支えられているからこそなのではないかと、私は感じます。子供たちの頑張りを目にして、「頑張ったね!」と励ましの声をかけてくださる方がいます。部活動でも、練習相手になってくださる方、アドバイスを下さる方が大勢いらっしゃいます。こうした皆様の温かい応援のおかげで、子供たちは自信をもち、果敢に目標に向かって挑戦することができているのだと思います。心より感謝申し上げます。

まもなく迎える小中高連合運動会でも、子供たちが一丸となって練習の成果を十分に発揮し、勝利に向かって頑張っている勇姿に、大きなご声援、拍手をいただけますようお願いするとともに、保護者、地域の皆様の多くのご来校を心よりお待ち申し上げます。



## 海洋センターボランティア



担当 高部 みなみ

9月1日(金)に海洋センターボランティアを実施しました。生徒たちは、ビーチクリーン・亀の水槽清掃・草刈りのグループに分かれて40分程度作業を行いました。ビーチクリーンではプラスチック、金属ゴミを収集し分類しました。ゴミを拾って終わりにすることなく、分類まですることが大切であることも学べていました。草刈りでは、施設内の草が生い茂る2つの場所を重点的に刈り、生徒たちは海洋センターの施設を綺麗にできたことに達成感を感じているようでした。水槽清掃の生徒は、水槽だけでなくアオウミガメの汚れも丁寧に落としました。小笠原の代表的な生き物であるアオウミガメと長時間ふれあい、今までよりも愛着がわいていたようでした。この活動を通して、海洋センターの活動を知るとともに、地域に貢献する意識やボランティア精神を高めるきっかけにしてほしいです。

最後になりますが、今回の活動にご協力いただきました海洋センターの皆様、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 巡視艇「みかづき」見学



担当 高部 みなみ

8月28日に、小笠原中学校3年生の希望者を対象に、小笠原海上保安署の巡視船「みかづき」の見学をさせていただきました。

見学会では、実際に船内の計器を触らせていただいたり、周辺にいる船の情報をモニターで見たり、救援のために使われる小さいボートの着岸時の係留方法について説明いただいたりするなど、「みかづき」に関する様々なことを、教えていただきました。生徒たちも興味津々に船内を歩き回るなど、普段触れることのできない環境に、大きく刺激を受けているようでした。

「みかづき」は、中国船によるサンゴの密漁などへの対策強化として導入されたと同じ、小笠原のきれいな海を守るために、海上保安庁としてもとても力を入れているのだと感じました。

このような貴重な機会をいただいた海上保安署の皆様、本当にありがとうございました。



## 村合同避難訓練

安全教育担当 松井 勇祐

9月1日(金)に村との合同避難訓練を行いました。大規模な地震の発生、地震に伴う大津波に対する避難訓練を行いました。今回は村のサイレン放送、体育館で避難所の開設など、村で災害が発生した際の避難について学ぶことができました。避難所の体育館には小学生も避難しました。避難後、中学校副校長の武田先生から、地震や津波の避難についてクイズ形式で講話がありました。今回の避難訓練を通して、各家庭でもぜひ、災害の時の避難場所や連絡方法、防災バッグなど確認する機会になればと思います。



## 小中高連合運動会に向けて

保健体育科 柴山 暁人

10月1日(日)の小中高連合運動会に向けて、保健体育の授業や放課後に全学年で練習をしています。今年度は運動会実行委員を募り、紅組団長の高野青波さんと白組団長の成田帆高さんを中心に練習を進め、自分たちで振り返りをして、運動会がよりよくなるように頑張っています。その2人の運動会への意気込みを紹介します。

【3年 成田 帆高さん】

『団長として、白組に限らず全体を引っ張っていけるように、声かけをしたり行動を早くすることを心掛けていきます。また、中学校生活最後の運動会なので、ダンスやむかで競走などの種目を全力でおこない、運動会をやりきり、達成感をみんなで味わいましょう。』



【3年 高野 青波さん】

『最上級生、運動会実行委員会委員長として、責任のある行動やリーダーシップなどをもって練習に励んでいます。昨年度けがで競技に出られなかったこともあるので、去年の分も頑張りたいです。中学校生活最後の運動会を全校生徒で高め合い、思い出に残るものにしていきましょう。』



## 令和5年度生徒会役員選挙

生徒会担当 多久 優麗花

今年度の生徒会役員選挙は、生徒会長(定員1名)に1名、副会長(定員1名)に1名、書記(定員2名)に2名の立候補となり、定数を超えなかったため、信任投票での選挙となりました。選挙1週間前から、朝の選挙挨拶運動を明るく元気に行う姿が印象的でした。立会演説会に向けた前日リハーサルでは、遅くまで残り各自が満足するまでスピーチの練習を重ねていました。9月23日(土)の投票日の立会演説会では、立候補者それぞれが生徒会役員としての想いを自分の言葉で語りかけました。立候補者の応援も胸を張って立候補者を推薦できるエピソードなどを話して後押ししていました。また、この選挙を行うにあたり、1学期から運営の準備にあたった選挙管理委員も、全校への呼びかけや立候補者説明会、選挙終了後の開票作業、結果発表と最後の最後まで責任を果たしました。



## 令和5年度後期生徒会 役員会・各種委員会

	第1学年	第2学年	第3学年
役員会	生徒会書記 市野 大和 生徒会書記 老松 慈人	生徒会長 菊池 純 生徒会副会長 根本 瑚々菜	
学級委員	○小野 雅治 ◎岩本 和佳	○白倉 築 ◎森本 千諒 水野 陽翔 ○金城 大輝	○伊藤 颯雲 ◎森下 加椰
生活委員	江口 粹 ◆成田 灯希	○横山 蓮 ◎吉田 智貴	筒井 昂 ◆筒井 彩花
美化委員	◆阿部 碧 ◆白倉 駈	○片岡 和貴 ◎諸星 慧	小野寺 麻芭 川口 喜久
保健委員	◆古賀 心望 ◆高嶺 和久乃	○有田 美結 ◎千葉 真鴻	折田 泰市 佐藤 希海
放送委員	◆福寿 七瀬 ◆水野 海颯	◎宮崎 士波 ○明神 晴大	竹澤 叶大 成田 帆高
図書委員	◆川上 颯介 ◆筒井 駿斗	◎武田 陽汰 ○綿引 海斗	工藤 楓河 高嶺 佳加
福祉委員	◆加藤 海悠 ◆山下 桜音	○富田みのり ◎松原 友香	梅津 小夏 加藤 空

◎…委員長 ○…副委員長 ◆…書記

# 村学力調査結果

研究主任 藤勝 大介

小笠原村では毎年全学年を対象として学力調査を実施しています。生徒の皆さんにとっては各教科どのような分野に苦手があって、どのような学習上の課題があるのかを知るための調査です。一方、我々教員にとっては指導の振り返りと改善を行っていくためのヒントでもあります。1学期に行われたこの調査は時期的にも前年度までの成果と課題を図るものですが、この調査からは次のようなことが分かりました。

村学力調査の正答率の経年変化推移から、社会科などに改善の成果が見られましたが、全体的に、横ばいや下降する傾向が見られ、特に数学や理科に課題があることが分かりました。(下表参照)

	R5正答率	全国平均		R5正答率	全国平均	R4正答率	全国平均		R5正答率	全国平均	R4正答率	全国平均	R3正答率	全国平均
1年国語	0.65	0.59	2年国語	0.73	0.64	0.64	0.57	3年国語	0.70	0.67	0.71	0.67	0.77	0.71
1年社会	0.60	0.53	2年社会	0.63	0.51	0.56	0.53	3年社会	0.59	0.54	0.52	0.56	0.52	0.54
1年数学	0.74	0.66	2年数学	0.50	0.53	0.77	0.69	3年数学	0.52	0.54	0.55	0.57	0.75	0.68
1年理科	0.69	0.62	2年理科	0.54	0.55	0.65	0.62	3年理科	0.54	0.49	0.54	0.54	0.58	0.57
1年英語	0.86	0.83	2年英語	0.50	0.46	0.86	0.80	3年英語	0.55	0.49	0.58	0.56	0.87	0.81

小笠原教育委員会教育目標実現のための授業改善に関する取組の重点である、「わかる」から「できる」を体感する授業を確実に実施するために、今年度も、「指導と評価の一体化」をふまえた生徒の実情に応じた授業改善に取り組んでいます。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る場面や評価の方法を工夫して、授業の改善と評価の改善を進めています。その一環として今回の村学力調査や定期考査後の生徒への授業アンケート結果等を踏まえ、授業改善推進プランを作成しています。保護者の皆様には10月28日(金)の保護者会でご提示させていただきますが、授業改善の取組についても知っていただけたらと思います。

## 🎃🎃🎃🎃🎃🎃 10月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
						<b>1</b> 都民の日 小中高連合運動会 (※雨天授業日)
<b>2</b> 振替休業日 (運動会が中止の場合も休業日)	<b>3</b> 振替休業日 (運動会が中止の場合も休業日)	<b>4</b> 芝生の日 安全指導 	<b>5</b>  避難訓練 生徒会朝礼(委嘱式) 役員会・各種委員会 SC勤務日	<b>6</b> 食育講話 自転車安全点検	<b>7</b> 英検1次	<b>8</b>  予備日実施→授業日 予備日延期→休日
<b>9</b> スポーツの日 運動会予備日 予備日延期→授業日	<b>10</b> 生徒会朝礼 予備日実施→振替休業日 予備日延期→運動会実施日	<b>11</b> 予備日実施→振替休業日 10日実施→振替休業日	<b>12</b>  SC勤務日	<b>13</b>	<b>14</b> 第2回数検	<b>15</b>  PTAパイ・フット 撤去
<b>16</b>	<b>17</b>	<b>18</b> 芝生の日 	<b>19</b>  SC勤務日	<b>20</b> 部活動なし 1・2年生4時間授業(弁当なし) 3年生5時間授業(弁当あり)	<b>21</b>	<b>22</b> 
<b>23</b> SC勤務日 学校公開(始) 三者面談始(3年) お弁当の日 学校朝礼	<b>24</b> 	<b>25</b> 	<b>26</b>  SC勤務日 小中高教科交流会 (部活動なし)	<b>27</b> 	<b>28</b> 土曜授業日 学校公開(終) 保護者会・進路説明会	<b>29</b>  
<b>30</b> 振替休業日	<b>31</b> 学校朝礼 					

### 【お知らせとお願い】

- ・今月のSC(スクールカウンセラー)の勤務日は、5日・12日・19日・23日・26日です。
- ・小中高連合運動会の振替休業日、延期日等にご注意願います。詳しくは連合運動会の開催通知をご確認ください。
- ・10月20日(金)は、校内研究授業のため、3年生は5時間授業(弁当あり)、1・2年生は4時間授業(弁当なし)です。また、この日の部活動は実施いたしません。
- ・10月26日(木)は、小中高の教員研修のため、部活動は行いません。